

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 12

千葉県立生浜高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、目標をもって充実した高校生活を送る強い意志があり、次のア又はイのいずれかに該当する生徒。

ア 中学校時代の学習態度が良好で、特別活動等に熱心に励み、入学後も学校生活全般にわたり意欲的に取り組む意志があること。

イ 中学校時代の学習態度が良好で、部活動において熱心に活動し、入学後も意欲的に部活動を行う意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	口頭による自己表現 入学後本校において取り組みたいこと等について、自己に関する事項を日本語で発表する。発表内容についての質疑応答を行う。 実施形態：個人で発表 検査時間：5分程度 発表に際し、資料等の持ち込みは不可。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が0又は1つの場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容について問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔100点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。ア及びイは、aを10点、bを6点、cを4点、dを2点、eを1点とし、ウはaを30点、bを18点、cを12点、dを6点、eを3点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し得点化する。評価eが2名の評価者にそれぞれ1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 発表の内容・構成	発表内容が適切であり、誠実に表現されている。 発表内容が整理されまとまっている。
イ 表現力・態度	表現力が豊かであり、わかりやすく具体的である。 服装・頭髪等の身だしなみが整えられており、基本的な礼儀作法が身に付いている。
ウ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・特別活動・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」、及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点	学校設定検査(自己表現) の得点	総得点
	評定 (K=1)		
500点	135点	100点	735点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。